

## 令和8年度予算編成方針

本市の令和6年度一般会計決算は、令和5年度に引き続き20億円を超える財政調整基金の取崩しを行う結果となりました。

企業用地の売買契約解除に伴う返還金支出という特殊要因があったものの、それを除いた実質単年度収支が約2億円の赤字となったのは、物価上昇に伴う人件費や物件費の増加、障がい福祉や児童福祉などの扶助費の増加、クリーンセンター再整備を始めとする大規模建設事業の進捗など、多面的に経費が増加していることが影響しています。

中でも、市の財政状況を表す主要な財政指標の一つである経常収支比率に関しては、県下で最も高い比率となり、本市の財政構造の硬直化がより一層進みつつある状況を示しています。

現状における令和7年度一般会計の決算収支見込みは、令和6年度と同水準となるものと推計しており、収支均衡決算を成すには今後の予算執行を一層精査しなければならない状況にあります。また、人事院勧告に基づく人件費の増加などにより、状況はさらに厳しくなることが想定されます。

令和8年度の財政見通しは、市税収入が引き続き堅調に推移すると見込まれる一方で、人件費や扶助費の増加に加え、これまで減少傾向にあった公債費が増加に転じるなど、収入増を上回る経費の増加が見込まれる状況にあり、経常的な収支は更にひっ迫することが想定されます。

本市は、こうした財政状況にあるなかで、このまちで暮らす皆様の満足度や幸福度をより高めるための取組として、

- ・市民の命と暮らしを守るための安全対策・福祉施策の実現
- ・未来を担う子どもたちへの投資
- ・公共施設マネジメントの推進による良好な都市基盤の維持

を進めていくこととしています。

財源に限りがある中でこうした重点事業を着実に進捗させるために、令和8年度の予算編成は、次の方針に従い取り組むこととします。

#### 1 ビルドアンドスクラップの推進

社会経済情勢の変化に伴い、行政に求められる役割が多様化する状況において、限りある財源による予算執行の費用対効果を高めるために、新たな需要に対応する施策への投資を進めるとともに、継続事業については行政に求められる役割や公費を投入する効果を改めて検証・精査し、事業の改廃を進めること。

#### 2 効率的・経済的な課題解決方策の選択

予算執行は、行政課題の解決を目的とした手法の一つであるという考えに立ち返り、全ての事業や経費において、前例踏襲・既成概念によらず、より効率的・経済的に課題を解決できる方策を改めて一つ一つ検討し、選択すること。

#### 3 予算規模の適正化

予算執行の厳格化とともに、不用額の縮減を図るため、事業費の算出は決算額をベースとしてより精緻に行うこと。

#### 4 財政運営の持続性確保

実質単年度収支の黒字化とともに、財政調整基金の維持を図るため、柔軟な発想をもとに、歳入確保・歳出縮減策を積み上げること。